



## 会議録

会議の名称	第3回加東市まちづくり推進市民会議																														
開催日時	平成25年11月22日（金）午後3時から午後5時まで																														
開催場所	滝野図書館 3階 会議場																														
議長の氏名	（座長 梅野巨利）																														
出席及び欠席委員の氏名	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">＜出席委員＞</td> <td colspan="2">＜欠席委員＞</td> </tr> <tr> <td>・佐治真喜子</td> <td>・高瀬俊介</td> <td>・梅野巨利</td> <td>・宮崎良平</td> </tr> <tr> <td>・稲岡みさ子</td> <td>・遠藤久男</td> <td>・大野美智子</td> <td>・横山和夫</td> </tr> <tr> <td>・小原秀司</td> <td>・近松照芳</td> <td>・豊福乃子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内藤直子</td> <td>・永崎久雄</td> <td>・広畑恒子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・藤本善仁</td> <td>・前田友子</td> <td>・増田正一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水口正昭</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			＜出席委員＞		＜欠席委員＞		・佐治真喜子	・高瀬俊介	・梅野巨利	・宮崎良平	・稲岡みさ子	・遠藤久男	・大野美智子	・横山和夫	・小原秀司	・近松照芳	・豊福乃子		・内藤直子	・永崎久雄	・広畑恒子		・藤本善仁	・前田友子	・増田正一		・水口正昭			
＜出席委員＞		＜欠席委員＞																													
・佐治真喜子	・高瀬俊介	・梅野巨利	・宮崎良平																												
・稲岡みさ子	・遠藤久男	・大野美智子	・横山和夫																												
・小原秀司	・近松照芳	・豊福乃子																													
・内藤直子	・永崎久雄	・広畑恒子																													
・藤本善仁	・前田友子	・増田正一																													
・水口正昭																															
出席した事務局職員の氏名及びその職名	<table border="0"> <tr> <td>・企画部</td> <td>部長</td> <td>芹生修一</td> </tr> <tr> <td>・企画部企画政策課</td> <td>課長</td> <td>小林勝成</td> </tr> <tr> <td>・企画部企画政策課</td> <td>副課長</td> <td>三木秀仁</td> </tr> <tr> <td>・企画部企画政策課</td> <td>主幹</td> <td>前中公和</td> </tr> </table>			・企画部	部長	芹生修一	・企画部企画政策課	課長	小林勝成	・企画部企画政策課	副課長	三木秀仁	・企画部企画政策課	主幹	前中公和																
・企画部	部長	芹生修一																													
・企画部企画政策課	課長	小林勝成																													
・企画部企画政策課	副課長	三木秀仁																													
・企画部企画政策課	主幹	前中公和																													
説明者として出席した市の職員	<table border="0"> <tr> <td>・技 監 松井三思呂</td> <td>・総務部長 吉田秋広</td> <td>・市民安全部長 阿江孝仁</td> </tr> <tr> <td>・地域整備部長 岸本敏弘</td> <td>・上下水道部長 岡田孝志</td> <td>・教育部長 村上秀昭</td> </tr> <tr> <td>・市民病院局長 中村 勇</td> <td>・会計管理者 山本貴也</td> <td>・議会事務局長 大畑一千代</td> </tr> <tr> <td>・市民安全部防災課長 中村隆文</td> <td>・建設部都市整備課長 陰山昌平</td> <td>・建設部土木課副課長 田中孝明</td> </tr> </table>			・技 監 松井三思呂	・総務部長 吉田秋広	・市民安全部長 阿江孝仁	・地域整備部長 岸本敏弘	・上下水道部長 岡田孝志	・教育部長 村上秀昭	・市民病院局長 中村 勇	・会計管理者 山本貴也	・議会事務局長 大畑一千代	・市民安全部防災課長 中村隆文	・建設部都市整備課長 陰山昌平	・建設部土木課副課長 田中孝明																
・技 監 松井三思呂	・総務部長 吉田秋広	・市民安全部長 阿江孝仁																													
・地域整備部長 岸本敏弘	・上下水道部長 岡田孝志	・教育部長 村上秀昭																													
・市民病院局長 中村 勇	・会計管理者 山本貴也	・議会事務局長 大畑一千代																													
・市民安全部防災課長 中村隆文	・建設部都市整備課長 陰山昌平	・建設部土木課副課長 田中孝明																													
1 議 題	<p>(1) 加東市総合計画進行管理について（各施策を構成する主要施策の取組状況）</p> <p>(2) 第2次行財政改革中間とりまとめに係る委員からの意見について</p>																														
2 会議資料	<p>(1) 行財政改革の推進に関する意見及び市の対応</p> <p>(2) 総合計画（政策Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ）進捗状況に関する意見</p>																														
3 会議の経過	⇒別紙「第3回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過」のとおり																														
平成26年4月24日	<p style="text-align: right;">座長 梅野巨利 </p> <hr/> <p style="text-align: right;">副座長 高瀬俊介 </p>																														

(別紙) 第3回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	<p><b>1 開 会</b></p> <p>第3回加東市まちづくり推進市民会議を始めます。            宮崎委員が都合により欠席との連絡がありました。また、横山委員、遠藤委員については追って会場にお越しになります。            梅野座長からごあいさつをいただきます。</p>
座 長	<p><b>2 あいさつ</b></p> <p>みなさまこんにちは。今日は3回目の市民会議ということで、前回項目がたくさんありましたが、密度濃く、いろいろな質問があり非常に良かったと思います。            今日も残り半分と行財政改革に関する質問に対する回答がありますので、効率よく、かつ、要点を絞って深く議論できればと思っています。ご協力をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、第2回市民会議に引き続き、主要施策進行管理シート I の P29 の政策 IV から VII までの取組状況の進行管理や前回の市民会議以降に委員から提出を受けた行財政改革の推進状況に係る意見等に対する、市の対応等を説明いたします。            また、今回も詳細な説明ができるよう、各部長も出席しております。            (席次順に事務局で出席部長を紹介)            本日、福祉部長は福祉部全体で他の公務に当たっておりますので欠席です。            それでは、会議に移りますので、進行を梅野座長にお任せします。どうぞよろしく願いいたします。            &lt;会議進行を座長に引き継ぎ&gt;</p>
座 長	<p><b>3 協議</b></p> <p>(1) 加東市総合計画進行管理について (各施策を構成する主要施策の取組状況)  <b>① 政策IV『活力』魅力ある資源を活かした 誇りのもてるまち</b></p> <p>次第に基づき、議事を始めます。            協議1番、加東市総合計画進行管理についての①政策IV、『活力』魅力ある資源を活かした誇りのもてるまち の主要施策の平成24年度の取組状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明の前に、会議のご案内の際にお願いしていましたが、「平成24年度 総合計画主要施策進行管理シート I」、「第2次行財政改革の推進状況～中間とりまとめ～」と「同じく、～中間とりまとめにおける数値的成果一覧～」をお持ちいただいておりますでしょうか。            本日お配りしている資料として、本日の会議次第、資料No.1『行財政改革の推進に関する意見と市の対応』とNo.2 の、『総合計画 (政策IV、V、VI、VII) 進捗状況に関する意見』の様式でございます。</p>

	<p>この、No.2 の様式は、前回同様、委員から意見をいただく様式になっておりますが、本日ご質問いただくメモとしてご活用していただいてもかまいません。</p> <p>会議終了後、再度お気づきの点や、ご質問があれば、この様式でご提出いただくものとなり、提出の期限は12月20日までとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜事務局から政策IV『活力』魅力ある資源を活かした 誇りのもてるまちを構成する主要施策の取組状況の概要を説明＞</p>
座 長	<p>政策IV『活力』についての審議に入ります。質問、意見をいただきます。何ページの何番に該当する質問かを最初に述べてください。</p>
委 員	<p>管理シートの P32「新産業・起業の促進」で、指標5で評価Dとなっていることについて、この数値は、立地企業と地域産業を足した数字になっているのか。また、どういう企業なのか。</p>
部 長	<p>対象は、まず市内の四つの工業団地の企業を第1段階として対象にしています。その全体の企業数は50社近くあるが、個別に横同士で情報交換をしようとする企業にあっています。その中で17社を目標としており、現時点では実践できているのが7社となっています。この件については、目標50社として進めたいと考えています。</p>
委 員	<p>立地企業の登録数ということか。目標が100になっているが、指標1の立地企業数の目標が55となっている。これと合わないのはどういうことか。</p>
部 長	<p>説明不足で申し訳ありません。まず、100の数字は第1段階では地元の企業ではなく工業団地の企業を優先にしようと思いましたが、これは工業団地の企業に留まらず、引き続き市内の企業についても働きかけをしており、その目標値として100としています。現実には工業団地の企業は地域の情報が全くない状態の企業が多いため、50の企業を優先して行うということです。</p>
委 員	<p>分かりました。</p> <p>会社情報を登録できない企業があるということで、それぞれ会社の方針もあると思うが、一般にインターネットなどで検索すればある程度の内容は見られるが、そういった内容を超えた何かをこのサイトに登録してほしいなど、求められているのか。</p>
部 長	<p>一つの例を挙げると、雇用関係などは、横同士で出来ないかということ。実際こちらに来られている企業は、本社機能を持ってこられている企業は全くなく、現場が主体となっています。ですから、このサイト登録にしても、一つ一つ本社に伺いを立ててやられています。企業によっても理解度等に温度差があり、違いがあるのは事実です。出来ればこちらは、身近な情報を横同士で、また市と企業との間を繋ぎたいと思っており、もう少し協議を重ねていかなければならないと</p>

	<p>いう大きな課題を抱えています。質問の回答としては、こういった部分も多少あることをご理解いただきたい。</p>
座 長	<p>どういうサイトなのか。立地企業というのは、団地にいる企業なのか。地域産業とは何を指すのか。</p>
部 長	<p>地域企業は工業団地の企業で、従来から地域で頑張っていたという基盤の大きな企業です。</p> <p>サイトの内容については、各工業団地では連絡協議会というのがあり、そこで情報交換するという機会を持ちたいというのが理想で、それが、有る工業団地と無い工業団地があります。社の工業団地ですと、計4社ですので、比較的集まりやすく、月1回必ず連絡会が行われ、その中で情報交換がされています。</p> <p>南山には、現在20社あり、平日の勤務時間内には情報交換ができていたため、これを補うためにサイトを設けました。狙いの一例としては、経費削減の取り組みをどの企業もされており、隣にある企業が自分の会社が求めている印刷部門の企業であること自体を知らなかった、また、自動ドアを含めた施設のメンテナンスなどは、会社ごとに行っているため、コストが非常に高くなります。</p> <p>今回、このサイトを通じて、複数社が同じところに依頼し、全体のコストを下げるという狙いで取り組んでいます。まだまだ実績を積んでいきたいのですが、サイトとして、企業同士でやっていけたらな、という狙いで作ったものです。</p>
委 員	<p>P32の指標4の起業者件数について、市内で新たな起業件数の目標値に対して100%で、順調でありとてもいいことだと思う。</p> <p>加東市の場合は事情が違ってもかもしれませんが、神河町に行った際、空き家を利用した、いいお店がいくつもオープンしていました。民間のお店が神河町の空き家に移って来て、そこを改修するのに助成金を出し、手厚く誘致されています。</p> <p>小さなことですが、それが集まり、まちとして、田舎ですが魅力的な店舗があるというような試みがされています。</p> <p>日本全国でも行われていますが、なかなかうまくいっているなと思いました。</p> <p>加東市の実情に合わせ、空き家、空き店舗の問題はどこでも起きていることなので、そこをいい活動にできればと思う。地域の方を雇用して地域の顔の見える、誰々さんが作った野菜、それを使った料理など、うまくいけば地域の活性化につながります。商工会でも企業からの相談を受け、支援室もありますが、もうひとつ来る方にも魅力があるようなことを考えていただきたい。実際にどの程度の支援をされているのかを知らずに話していますが、とても神河町がよかったので紹介いたしました。</p>
部 長	<p>今ある市内の商店街等を含めて、委員がおっしゃった、どうやってうまく使うかということは、過去から取り組みを行っていますが、一つは構造的なものもあります。道路に面している表側が店舗で裏が住居となっている場合が多く、簡単に貸せないという場合もあります。地域の色を出したテナントとして活用している場合と商業ベースに乗せていく場合と大きく二つあると受け止めております。</p> <p>商業ベースで商業施設を考えている場合には、加東市では交通量、人口密度の</p>

	<p>薄さなど、なかなか難しい部分があります。商店街の空き店舗の利用については、他に比べると利用面で特徴が出ていないと受け止めています。今後も商工会と話を進めていきたいと思しますので、今の時点では具体的な内容を持ち合わせていませんので、答えにはなりませんご理解していただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>私のイメージでは、社の商店街とかではなく、もっと田舎というか築100年くらいの古民家の改修なども含めて、空き店舗より空き家に目を向けていくのがいいのかなと思ひました。それで結構ですひで、またそれも考へていただければと思ひます。</p>
座長	<p>関連ですが、あるべき姿で掲げているのは、新産業などだと思ひますが、指標があまりそぐわないのではないひか。特に指標2と3はあまり恣意と関係ないのではないひか。「製品出荷額」や「従業員数」で、もちろん起業者は関係しますが、「空き店舗の数」や「既存施設の活用」など、こういうことが計れる指標が必要ではないひか。例へば、どうひう新しいプロジェクトを考へているひか、年間1件でもいいひで、そうひう既存施設の活用について意見を出すや、どこかとコラボしてやるなど。うちの大学の学生もやっていますが、そうひう所と共同研究するなど、そうひう指標が必要ではないでしようひか。この指標2と3より、今の一つでもいいひで、もし可能であれば指標の入れ替へを考へられないひか。このあるべき姿にふさわしい指標が必要だと思ひます。</p>
部長	<p>空き家などをうまく使っていこうとするひきは、観光部門とのタイアップが絶対必要だといひ認識の中で、先ほど神河町の事例の紹介がありました。身近なところの先進事例としては、篠山市の民家を使っして和食のお店を開くなどの実例がある中で、一つの例として、レンタルサイクルを自由に活用してもらひ、利用者の利便性も図りながら、地域が市外の方を全面的に受け入れ、来ていただくことに感謝の気持ちをもっして迎へ入れているといひことを実感することが必要。</p> <p>従来、篠山市などとは観光連盟でのつながりがあったひですが、合併と同時にそれが消えた状態になっているひで、今一度、いい縁を戻したいと思っしており、篠山市に働きかけをしたいと考へています。</p>
座長	<p>産業に集中していますが、農業、森林、観光、就労など他の項目についても意見はありませんひか。</p>
委員	<p>P34「就労環境の充実」の指標3では企業訪問数がかひり増えているといひことはそれだけニーズがひいと受け止めていますひが、指標の中に再就職や就職機会を得たといひ指標があれば、より達成度が分かりやすい。求人ひの機会提供についてひの指標が並んでいるひが、実際にその機会を得たといひデータはあるひか。</p>
部長	<p>この件については、色々なところひで求められているひが事実です。今回対象としているひのが、社福祉センターにありひます就労支援室です。そのひの役割は、ハローワークのようひに就職の斡旋は出来なひ組織ですが、年間400件くらいひの相談が</p>

	<p>あり、特徴としては、就職活動をやっている中で、履歴書の書き方、空白が多くみられる志望動機欄の書き方、面接にあたっての注意事項など、職を求めておられる方の活動を支援する組織として位置付けています。したがって、無事に就職できたということは把握できていません。</p> <p>本人から結果報告をもらうことも稀にあるが、把握できない状況です。ハローワークの場合は紹介状が出るため、それに対して企業からの採用又は不採用の通知が返って来るが、性格の違いの部分があり把握できないことをご理解いただきたいです。</p>
委 員	<p>P33 で施策が「観光産業の活性化」、「観光の振興」が主要施策になっていますが、指標 1 から 3 のすべてが観光を対象とした資源ととらえられています、一例として、朝光寺について、最近、文化庁の助成を受けて屋根の吹き替えが行われました。</p> <p>私はヘリテージマネージャーとして、北播磨地域の方を集めて案内や自分の勉強で行った。文化財として朝光寺そのものは素晴らしく感動するが、そこにアクセスする途中の山道のあたりが、枯れ木がいっぱいで、何年分も積み重なっているという状況があり、案内時、あまりにも恥ずかしかったので一日ボランティアで下枝を片づけるなど、個人的に行った。</p> <p>地域整備部が担当されている、観光の振興ということですが、朝光寺に子ども達や幼稚園児・保育園児が地元の文化を知るために遠足に行ったときに、下刈りもしていない、古い枝が落ちているところをみて育って、どう感じるかなと思った。</p> <p>確かに文化財なのでたくさんの人が荒らしても困るが、観光資源以前に、地域の文化的な環境づくりという観点で建物単体としての朝光寺そのものだけでなく、そこへアクセスする道路からの風景もすばらしいという声を案内時に聞いたので、その維持管理をどのようにすればよいのか。ボランティアの協力も大事だが、地域整備部だけではなく、メンテナンスの部分で土木課のような部署も関与されているのか状況をお伺いしたい。</p>
部 長	<p>観光施設の維持管理について、委員ご指摘の通りです。</p> <p>市内の観光施設は基本的にこちらが現地を見て回る中で、シルバー人材センターに年間通して維持管理をお願いしています。ご質問の中にありましたように、いい意味で地域がということになりますと、観光施設については、観光協会が主体で維持管理を行っていく方向でいければと思っています。観光協会の組織編制の中で従来であれば商業観光、レジャー関係の方など、協会運営に携わっていただいておりますが、地域の方も一緒になった体制を考えるなかで、細かい点の対応も考えていきたいと思っています。今の段階では細かいところまで出来ていないのが事実ですので、今後前向きに考えていきたい。</p>
座 長	<p>この項目の予定時刻を過ぎているが、何かあればシートに書いて提出願います。</p> <p>② 政策V『快適』暮らしと憩いが響きあう 心地よいまち</p>

座 長	政策Ⅴ、『快適』暮らしと憩いが響きあう心地よいまちを構成する主要施策の取組状況のご説明を事務局からお願いします。
事務局	<事務局から政策Ⅴ『快適』暮らしと憩いが響きあう 心地よいまち を構成する主要施策の取組状況の概要を説明>
座 長	『快適』の7項目について、質問意見をお出してください。
副座長	P35 指標 2、特別指定区域の推進による規制緩和区域について、詳細をお聞きしたい。新たに拡大等すると聞いているが。
課 長	<p>まず、現状として、平成 22 年に東播都市計画区域の市街化調整区域を対象に 37 地区について、地縁者住宅の指定を行いました。これは、10 年以上地元にお住まいの方については、新たに住居等が建てられるという制度です。</p> <p>先ほどのご質問の新たにという点ですが、これについては、地縁者住宅に加えて新規居住者の住宅区域というものがあり、その取組みになります。</p> <p>当然地元での合意形成が非常に重要なため、今年度、説明会を開催し、制度概要を理解いただき、また引き続き地縁者住宅の啓発も行いながら、新たな新規居住者について、地元ではどのようなとらえ方をされるのかということなどを議論いただき、その中で合意形成が図れたときには、新規居住者の住居地域を指定していくという流れになると考えています。</p>
副座長	各地区においては、高齢化により人口も減少しております。住宅が建てられなければ他の市町村に住宅を建てられますし、マンションにも入られます。こういうことがありますので、この制度を活用すると加東市の定住人口が維持できるのではないかとということでお聞きしました。
座 長	この数値は最後まで 40 で変わらないのか。目標値が変わらないというのはどういふことか。
課 長	<p>地元での合意がなければ、行政の思いだけで具体的な指定、設定はできません。制度設計を十分に説明させていただいた上で、地域の方々にご理解いただいたところを適正に指定していくという運びになるため、先に数字だけを挙げてしまうと、実態とかけ離れた状況になりますので、数値目標があがってないということになります。</p>
委 員	P35 ページ指標 3、緑化活動実施団体数について、表示された数値は実施団体数ですが、個人的に沿線の緑化に取り組んでおられる事例をよく見かけます。例えば、国道 372 号が開通し、工業団地へ通じる道路沿いで、現在はまだ側道に植栽ができていなくて計画中だと思うが、行政が植えたあとでもないのに、道に面する家では、自分の軒先と同じ草花を、372 号の沿道に春から夏にかけて植えておられた。それは自分の庭先と同じ花が咲いているのでどなたの家が植えられたの

	<p>かよくわかります。</p> <p>また、芝桜のベルト地帯でも、ウォーキング中の方が、背の高い草などを自主的に引いていらっしゃる姿を見ます。この項目ではグループや組織での数値なので個人の活動などは挙がってきませんが、全市民が緑化に対する意識が高いのだと思いますし、個々にされる作業もプラスすれば、隠れ数字になると思っていただければ、100%に近い数字になるのではないかなと思いました。</p>
座長	<p>解釈としてそういうこともあるということだと思います。指標1からも関連して言えることで、まち並み整備のルールに参加した市民の割合などにも関係してくると思います。</p>
委員	<p>P37.『快適』暮らしと憩が響きあう心地よいまちというところで、ユニバーサル社会づくりと書いてあるのですが、非常によいことだと思う。今後、福祉サービス等が実施されてユニバーサルなまちになっていけばいいと思います。それに関して、いいテーマがあがっているが、市の色々な計画があると思うが、具体的にモデル地区などを設定して、重点的に適用していくということで進められてはどうか。</p>
座長	<p>満足度割合の指標しかないので、具体的にモデル地区など、どの程度進めるのかという計画を含めた指標があるのではないかと、という質問だと思います。</p>
課長	<p>総合計画の中の写真にも写っていますが、社市街地地区につきましては、都市再生整備計画事業として平成21年度から平成25年度にかけて事業を実施しています。</p> <p>その中で道路については道路改良、歩行帯整備、区域の中ではバリアフリー化などに数値目標を挙げて行っております。</p> <p>また、その中にもユニバーサル社会づくり推進協議会が立ち上がった中で、24年度は福祉マップの見直しなどの事業成果が挙がっています。</p>
委員	<p>具体的に計画に反映されて、それを追跡していくという方法をとることも一つの案なので、考えていただければと思います。</p>
副座長	<p>ケーブルテレビの件ですが、これは28年度から民間に徐々に移行するということになると、後期基本計画の26年、27年とありますが、この辺りの内容が少し変わってくるのではないかと。</p>
部長	<p>ケーブルテレビのアンケートを行った時点と、この4月以降にケーブルテレビを取り巻く環境が激変し、9月にケーブルテレビが民設民営になるという公式決定をいたしました。ただ急激な移行に対しては心配をおかけすることになるので、28年度を目途に現在のケーブルテレビを廃止し、29年度からはケイ・オプティコムにケーブルテレビの事業委託を行うことになっています。</p> <p>当然、指標も変わり、加入状況や満足度などのとらえ方は、市で行っている自主放送に対する意見が主になってくると思います。</p>



<p>委員</p>	<p>インターネットや電話などの満足度、重要度については、民間サービスに対する評価となり、ケーブルテレビについての指標や内容については、かなり変更することになると思います。大きな社会の流れの変化となると思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>意見ですが、基本計画の101ページに、ひょうご東条ニュータウンですが、とても広くてきれいなところで、とても美しい素敵なお家がたっているなと思いました。「ニュータウン」といえば、若い人が定住するのに、家を建てようと思ったとき、自分達の子どもを育てるのに環境はどうかなどを、よく考えてそこに土地を買って家を建てようと思います。</p> <p>計画についてはよくわからないのですが、例えば保育園や小学校、小児科があるなど、計画的にまちが作られて、そこに住みたいと思った人がたくさん集まってきた、そして、そこに企業が誘致され、たくさんの優良企業が集まり、お母さんがそこへパートに行きたいということになっていけば、みんなそこで楽しく暮らせるのではないかと思います。</p> <p>きれいな公園や広くて良いところがたくさんあるなと思ったのですが、ショッピングセンターが真ん中に建つのかなど、ニュータウンのイメージからそういったイメージがするのですが、小学校が近くにあって安心して子どもがそこに通い、そのまちがすごくまとまって楽しいのではないかと思います。</p> <p>ただ、そのまちが繁栄した時、そこだけが孤立するのではなく、東条のまちの古い伝統的なことに、そのまちがそのまちを引き込んでいき、加東市がみんな楽しく暮らせるようになればいいな、という意見です。</p>
<p>座長</p>	<p>それでは『快適』に関する項目で、その他あればシートに記入の上ご提出ください。</p>
<p>座長</p> <p>事務局</p> <p>座長</p> <p>委員</p>	<p><b>③ 政策VI『協働』多様なきずなが織りなす 協働のまち</b></p> <p>続いて③政策VI『協働』多様なきずなが織りなす協働のまちに関してご説明願います。</p> <p>&lt;事務局から政策VI『協働』多様なきずなが織りなす 協働のまち を構成する主要施策の取組状況の概要を説明&gt;</p> <p>それではこの『協働』に関する質問意見をお願いします。</p> <p>私は地域で色々な行事をやっていますが、伝統行事への参加率が非常に低いということを感じます。お金をかけて有名人を呼ぶなどすれば、おもしろいのにという発想はあるのですが、そうではなく、もっと地元の住民自身がかつと盛り上げようではないかという動きを作り出したい。</p> <p>このコンソーシアムというのは申請がないのでありませんでしたというお話でしたが、これはもっと自主的に各地区の関係者が集まってきた、何かないかという動きはないのでしょうか。</p>

部 長	<p>コンソーシアムについては、大学のあるまちの強みを活かそうということで、大学を核にして、各種団体や組織、地域の活性化を図っていくという狙いの中で、一昨年設立をし、昨年は学生フォーラムを開催し、安全安心のまちづくりの実現のため、いろんな提言をいただき、その提言を実現するために予算化をしてきました。</p> <p>もう一つの流れとしては、各地区のまちづくり協議会をターゲットに区長会を中心に、また、まちづくり協議会を中心にそれぞれ地域が抱えている課題があれば、ご照会をしておりますが、名前が堅苦しいということもあり、1・2回の説明では理解ができないということもありますので、今年度はターゲットを絞り、特に大学との関わりが強い地区に声かけをし、一つの取り組みをやってみようと考えています。</p> <p>その発表の場を設け、「これくらいのことだったら私達にもできる。」という輪を広めることができると思っています。一挙に三年間に5つも6つも作っていくということは考えていませんが、少しずつその取組を広げていきたいと思えます。</p>
部 長	<p>地域文化の継承ということですが、教育委員会では現在小中学校の道德教育に関して文科省で教科化が進められており、兵庫県の副読本等を使って道德教育を進めています。その中で地域のまつり、また地域文化の継承というようなテーマを題材とした道德教育を実際にやっています。子どもから地域や地域の文化を大事にしようというような取組をやっていますので報告します。</p>
委 員	<p>子どもからということは非常にありがたいと思います。確かに子どもをイベントに招待すると、必ず親もついて来られます。「賑わう」という意味では非常に効果があり、子どもたちがイベントに参加することは良いと思う。</p> <p>先ほど区長会でとの話がありましたが、もう少しグループダウンして、各地区には地域を盛り上げるという担当が必ずいると思うので、担当の生の声を聴く機会をぜひ作ってほしいと思う。これは切実な問題だと思います。幸い私の地区は大きな村なのでそれなりの人は集まりますが、地区によってはこのまま続くのかという地区もあります。このことは地域の伝統を守っていくという意味においても、もう少し積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p>
副座長	<p>地域のコミュニティづくり、従来からの伝統や地域の教育はどの地区にもたくさんあります。参加者が減って、やっているのは60歳以上ばかりで小さな子どもさんが参加していないという状況です。</p> <p>私の小学校区で、6年前に県のふれあい広場事業に参加し、そこでワークショップ等を何度も重ねて今後の地域の活性化のためにどういうことを行うか、区長をはじめ地区全体であらゆる方に集ってもらい、10回ほどワークショップを行いました。そして、ある程度のものを作りました。それに携わる年間の人数は4～500人のボランティアや役員です。ちょっとした工夫も必要ではないかという意見です。</p>
委 員	<p>これは宣伝ですが、私の地区は新たに造成してできた、現在117戸の地区です。</p>

座 長	<p>他の社市街地のコミュニティの性格と、新しくいろんな方が集まった都会的なコミュニティになっており、そこでのコミュニティ作りは区長さんの努力もあり、兵庫教育大学の吹奏楽の有志の方に地区のまつりの企画に参加いただき演奏してもらいました。子どもからお年寄りまで公民館に集まり、今年はお天気も良かったので広場で演奏していただきました。そのあと味噌汁やおにぎり、焼きそばなどを食べて、100 戸くらいの地域としては、交流が少しずつ進んでいるなど思っています。何を核として、地域福祉コミュニティを活性化させるかは地区によって性格が違ふと思いますが、私の地区の場合はそのコミュニティの活性化の一つの手段として、地区のまつりの中で、子どもたちや私たち中高年も加わって、三年ほど前から兵庫教育大学の協力を得ています。とても素晴らしく感動しましたので宣伝しておきます。</p> <p>それでは次にまいります。</p>
座 長	<p><b>④ 政策Ⅶ『実現に向けて』まちづくりの目標を支える自主自律の行政経営</b></p> <p>④政策Ⅶ『実現に向けて』まちづくりの目標を支える自主自律の行政経営を構成する主要施策の平成 24 年度の実現状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>＜事務局から政策Ⅶ『実現に向けて』まちづくりの目標を支える自主自律の行政経営 を構成する主要施策の実現状況の概要を説明＞</p>
座 長	<p>『実現に向けて』自主自律の行政経営について、質問、意見を出してください。</p>
委 員	<p>質問ですが P48 の指標 1 の数値はこれでいいか。100%で評価Aと思ったのですが。</p>
部 長	<p>この数値については、色々な方向からの見方があるという理解をしていますが、職員を限りなく減らしていくという見方をすれば、今言われたように数字が低いほど 100%という数字になりますが、ここでいう適正化は、今現在、市が扱っている色々な事務事業や係があり、今現在我々が考えている、仕事をしていく上で、そこに適正にこれだけの人数は必要ですよという数字をあげていますので、それより少なればある職員が大変な目に合っているということになります。ここが充足され、472 という数字になれば 100%。これより多ければダメ。低くてもダメという解釈をしています。</p>
委 員	<p>ちょうど目標値になれば 100%になるという解釈でよいのか。</p>
部 長	<p>そのとおりです。24 年度でしたら 473、これが今現在で一番適正な人数であると考えています。あと、年度ごとになっていきますが、私たちの目標は 29 年度で 469 人という数字の設定をしています。その中で各年度の凸凹は最初に説明があったように退職の数や、色々な要因によって多寡があり、何年か先を見据えて少し採用を多めにしようという年もありますので、その場合は凸凹します。</p>

座 長	<p>同じところの質問ですが、ここは結構大事な項目だと思います。人材育成、組織、企業の中の人材は資産、それにしても指標が少なすぎる。派遣研修の参加人数で人材研修が示されていますが、しかもこれは外部に出しているのか、庁内のものであるかもしれないが、ちょっと受身的だと思います。</p> <p>加東市ならではという中で、どういう人材育成をするのかというものを持って、それに対してどういう研修のプログラムを作った、本年度初めて行う人事研修でこういうものをやるというような目標をたてるべきではないか。</p> <p>もちろん外部に出す研修もありますが、加東市の中で考えている人づくりのための研修は、29年度までにどういうものを作るのか、そういう指標もいるのではないかと思う。</p> <p>もう一点は組織論の話で、報告書にいいことが書いてありますね。チーム横断的。すでに項目の中でも部がまたがっているものがあります。こういうものは実質的にプロジェクトチームとかタスクフォースがあるのか。そういうものを作ろうとしているのかという指標もないです。実際そういうのは必要だと思います。いろんな部署が関わって、縦割り行政の弊害が普通は出てくるので、それを克服するようなことを目指す上で、そのための指標が必要だと思うがいかがか。</p>
部 長	<p>全く座長の言われるとおりに思っています。残念ながら指標に表わしていませんが、この研修の中には派遣による研修、外部委託による研修、いろいろありますが、新たな取組としては、自分たちであるテーマをもってそのテーマを解決するにはどうすればよいかというチーム編成をして取組を始めています。そういう物が指標に表わせば、と思っています。これは私どものPRが少なかつたのかなと反省しています。いろんな取組をしておりますが、これを指標化できるように考えていきたいと思っています。</p>
座 長	<p>ぜひご検討をお願いします。</p>
副座長	<p>適正な人数は、各部等からの人数の要求があり予算化され、要求されると思うのですが、来年、26年2月から庁舎が統合になり、東条と滝野が閉鎖になり一体化して新庁舎に移りますが、ほとんど人数が変わりませんが、あらたに国からの地方自治体に対してこういう仕事が増えますよということを見込んでの数字なのか。</p> <p>普通に考えるともう少し合理化ができるのではないかと。工場が3つあって統合すれば最低2割はカットできる。しかし、これは行政ですからそんな乱暴なことは出来ないと思いますが。</p> <p>それから後に書いているすべてのことにおいて電子化ということは、計算業務等は機械が入ってくる。そこに専門職を置いて非常に業務の効率化ができる。窓口業務も3つあったものが一つになる。それは外部委託し郵便局にさせる。市民感情からしますと、この指標の人数が適正かどうかちょっと疑問です。</p>
部 長	<p>加東市3庁舎ございますが、分庁方式ということで、各庁舎それぞれ違う課があります。他の合併地域と同じように、例えば地域局ということで、本庁と同じ</p>

	<p>機能を持つ課が各庁舎にあればその部分は省けるということですが、加東市は分庁方式で必要な課をそれぞれ三つの建物に配置しているという特殊性がありますので、なかなか人員をカットするということは難しいです。合併によります適正人員については、合併当初にかなり大量の人員が退職されておりますので果たせていると思います。</p> <p>ただ、これからは機械時代と言われましたように、いくらか適正な人数が下方に修正できる部分があるかと思いますが、国が行政改革で仕事を地方に持ってくる、県も行政改革で市に持ってくるという、国県でやる業務が市にかかってくるということがこれからたくさんあります。ですから一度に職員を削減するのがベターなのかというようなところは、少し検討が必要ではないかと思っています。</p>
副座長	<p>将来的に踏まえておられるなら結構です。</p>
委 員	<p>副座長が言われたことと同じですが、せっかく新しい庁舎ができるのに今の延長では知恵がないのではないかと。やはり合理化して、人が同じであれば違う仕事や、今できていない仕事をやるとか、今、改善というか改革が一番やりやすいタイミングではないかと思っています。チェンジしたときには出来なくても、半年先1年先、2年先にはそういうことをできるチャンスが出てくるのではないかと、そういう時も目標に市政を進められることを期待します。</p>
委 員	<p>P49の指標3-1、3-2に関連したことです。報道機関への情報提供という項目ですが、市民から市の広報へ情報提供をしてはどうかということをご参考までに提案させていただきます。</p> <p>かつて、神戸新聞のわがまちリポーターというのをさせていただいたことがあります。それは広範囲にわたる区域の中で、リポーターが身近に起こる情報をキャッチしてデスクに知らせ、いわゆる取材に至るまでのお役にたつということでした。それを参考にお話しします。</p> <p>市の担当者もいつも市内全域をくまなく情報収集に巡回されるのは大変だと思いますが、もしよければ何地区かサブリポーターのようなものを置き、些細なことでも提供できるシステムがあってもいいのかなと思います。</p> <p>お勤めさせていただいてそれを離れ思うことですが、周りにはアンテナの高い方がたくさんおられることに気がきました。誰かに話したいとか、聞いてほしいとか、色々な情報をたくさん集めている方がいらっしゃると思いました。そういう方にボランティアで動いてくださる人の協力によりできればいかがかな、と提案させていただきました。</p> <p>それで、あちこちから広報係に情報が入ればそれを取捨選択して報道機関へも提供できるのではないかと思います。</p>
座 長	<p>そういう市民から吸い上げるということはあるのですか。広報を発信するだけでなく受信するということでしょうか。そういう試みとかありますか。</p>
部 長	<p>広報モニターとかのご提案ではないかと思っています。秘書広報課で広報や新聞社への情報提供をしています。この件数から言いますと、十分加東市がPRできて</p>

	<p>いないのではないかとというご指摘もありましたが、25年度については、かなりのペースで新聞掲載がありますので、おそらく指標は達成できると思います。</p> <p>その中で行政情報として提供するもの、また、まちの話題として提供するものと、いろいろあり、定例記者懇談会には、これまで行政だけが参加していたところを、少し広げて教育大学、生涯教育センター、商工会など情報を持っておられるところには参加いただく形に変えています。ただ、個人の方に定例記者懇談会に来ていただいて、というわけにはいきませんので、市の広報やケーブルテレビを預かる課としては、市民の方々からの情報提供を必要だと思うのですが、今言っていたように、取捨選択など、どういったものを提供していくのかという仕組み作りができていませんので、非常にありがたい提案ですのでモニター制度ができるのかどうかを検討していきたいと思います。</p>
委 員	<p>今の発言の関連ですが、市政懇談会でご提案したことがあります。今の話は広報のための情報提供ということでした。</p> <p>公共施設のマネジメント白書に書いてありますように、作った公共資産は膨大なもので、これからは少子高齢化で人は減っていきます。今まで高度成長期に作った公共施設をどう維持管理していくかというのが、これから非常に大きな課題となっています。市議会でも特別委員会を設けて検討が始まったということです。</p> <p>それに市民の参画をできるだけうまく使っていただくというようにお願いしました。私は文部省管轄の国立大学の施設課に勤務していました。</p> <p>それなりに色々な経験を積んでおり、まちづくりにこの経験が活かせるのではないかとということで、一つの提案として、公立小学校・中学校・幼稚園の施設の老朽度を点検し、その情報を市有財産の管理等についてお尋ねしたところ、これは土木課です。と行って電話を回されました。そちらに情報を提供してそれを受け止めていただくところがあればいいなと思いました。</p> <p>現在、国立大学法人の施設担当課では、キャラバン隊という東京大学や大阪大学などでたくさんの専門的な施設を抱えています。先生や学生からいろんな苦情や要望があり、それを受け現地に行き、情報を把握するというキャラバン隊ですが、市民から情報を担当課に提供するという、それを受け止める組織をこの機会に作っていただきたいと思います。ここでお願いします。</p>
副座長	<p>今のご意見ですが、市が抱えている公共施設は127ほどですか。</p>
部 長	<p>マネジメント白書の対象施設は67ないし69あります。</p>
副座長	<p>そのあたりもいろんな方面で十分審議されておりますので、そういう会議等においても意見を取り入れてもらえればよいかなと思いました。</p>
委 員	<p>P48の指標1についてですが、先ほど話されていたように、3庁舎が合併しても人数が変わらないのであれば、この指標は必要か。</p> <p>業務の縮小や色々なことをしなくなり人員を減らすからこの指標が挙がっているのか、退職や採用により人員に大きな差がないのであれば、この指標は不要ではないかと思いました。</p>

<p>部 長</p> <p>委 員</p> <p>座 長</p>	<p>そういうご意見もあります。適正化という部分からみれば大切な指標ではないかなと思いますが、職員を削減していくというひとつの目的は達せられたのかな、というような解釈をいろんな方々がされているということが確認できましたら、その指標は考えていきたいと思います。</p> <p>そんなに変わらない、このままの人数でいけるのであれば、この指標はいらないと思います。</p> <p>この進行管理シートについてはこれで議論を終わります。 また、ご意見のある方は様式に書いて12月20日までに提出してください。</p>
<p>座 長</p> <p>事務局</p> <p>部 長</p>	<p><b>(2) 第2次行財政改革中間とりまとめに係る委員からの意見について</b></p> <p>行財政改革の推進に関する意見及び市の対応ということで、委員からお出しいただいた意見の回答です。</p> <p>前回の市民会議以降11月15日までに委員の皆様からいただいた意見や質問等について、本配布しております別添資料1に基づき、それぞれ、所管部長から回答及び市の対応方針等について簡潔に説明いたします。</p> <p style="text-align: center;">＜担当部長等から資料1に基づき行財政改革に関する意見に対する市の対応等を説明＞</p> <p>最初に、夏まつりの費用対効果の質問をいただいています。また、イベントの内容についても今後の工夫のご意見をいただいている中で、今年度、市の取組としては、花火と踊りについて、分離開催という形で実施しました。花火については、テーマをきちっと決めた企画内容にしようということで、今年は「いろいろな愛」ということで、郷土愛、家族愛をイメージした音楽花火ということで提案いたしました。結果としては、お越しいただいた人数規模は前年の7,000人に対して、2割アップの9,000人となりました。また、踊りにつきましても、テーマを「加東よしよし音頭と河内音頭のコラボレーション」で皆様に提案させていただきました。結果としては前年の2,000人に対して、5割増の3,000人となりました。まつりについては実行委員会により、企画内容の提案また指導を得たうえで進めているイベントです。ご意見の最後にありますように、いろんな形の工夫、無駄な支出を省くという点についても今後引き続き取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>参考までに今年度の費用は同額の1,700万円です。来場者数は人数の把握ですが、平成23年度までは主催者側の見込み数字でした。当然実際とは、ずれが生じております。ただ24年度からはこういうイベントについて、警備面の徹底した指導があり警察署からも来場者数については、最大限のカウントにより実数で確認するように指導を受けており、24年度からは、ほぼ実数値となっております。以上です。</p>

部 長	<p>公用車台数の適正化ということでご意見いただいています。23年度までは減少に向っていましたが、24年度は5台増えているということはどうなっているかというご指摘がございますが、いろんな件数のとらえ方があり、まだ市の財産になっていない、リースをしている車を省いている数字で掲載しています。そのリースが終わり買い取りを行い、市の名義になったものが3台ありました。あと2台については災害対策用のトラックを1台購入し、もう1台は、米田ふれあい号のワゴン車を購入しました。購入自体で増加したのが2台、リースから名義変更されたものが3台となっています。</p> <p>それから、消防の分団車両が77台。これが数値的成果から除外されているかどうかということですが、災害時、有事の際にはもう少し充足させた方がいいのかという考え方がございまして、それを削減計画に当てはめていくのはどうかとの思いから省いております。以上です。</p>
部 長	<p>続いて、時間外勤務手当の縮減についてですが、成果なしの要因の一つとして、電算システムの更新後、時間外が縮減されるか、どう予想されているかというご質問です。23年度ベース位までは戻るかなと期待していましたが、この25年度については、庁舎の移転という大きな事業がありまして、その打ち合わせ協議等でかなり時間を費やしているため、なかなか減ってきていないというのが現状です。大変厳しいご意見をいただいておりますが、決して時間外勤務手当目的にムダな時間外勤務をやっている職員はいないと思っています。25年度につきましては先ほど申しました特殊要因やいろんな個別計画がありますが、その見直しの時期も重なっています。いずれにせよこの時間外については、もっと縮減していきたいと思っていますが、それには何をすればいいのかということ、事務の見直しであり、外注できるところは外注し、その部分が片付きますと予算的には科目が移るかもしれませんが、時間数については縮減できると考えています。</p> <p>ノー残業デーに関して、ありがたい意見をいただいております。残念ながら統計的に出す数値としては前年の6月くらいからの数値しか持っていませんが、当初50%を切るという達成率でした。それが一年少し経った今現在は、3庁舎のみに限った統計ですが、85%から90%を少し超した辺りを行き来しているところです。これはあくまでもノー残業デーの水曜日に限った数値でございます。その数字が他の曜日にも広がっていけばという取組は考えております。</p>
部 長	<p>次に会議の情報公開の推進ということで、個人情報の開示とはどのようなことですかというご質問ですが、診療報酬や相談記録など、いろんな個人的な情報があります。そういうものについて、個人の方から私どものものはどうなっていますかという開示請求があるということです。</p> <p>昨年から取り組んでいます戸籍住民票等の請求に関して、誰が請求して交付を受けたかということを確認する意味での請求、開示を始めております。このようなことから増えてきているということになります。ちなみに戸籍住民票関係で、登録をしていただきましたら、その方に関する証明書が交付されたときに、通知をするという制度があります。今、1,200人程度の登録があります。</p>
部 長	<p>ふるさと納税の件数につきましては、最新の数字ですと、11月21日現在、実</p>



	<p>際に寄附をお受けした数は、127件、約220万円程度になっています。今、申し込みを受け付けておりますが、まだ入金されていないものは、183件、金額は390万円程度になっております。</p> <p>特産品でお返しするという点については、今、お酒ブームということで、特定の銘柄は申せませんが、テレビ等で取り上げられ、かなり有名になっております。その効果が出ているのかなと思っています。</p> <p>ここで指摘いただいている、金額に応じたお返しの品を考えてはどうかということですが、これはまさしくその通りで、今後どうしていくかの検討の中に含まれています。</p>
<p>部長</p>	<p>福祉事務所の相談事業のあり方の検討の項目において、福祉部署との連携、また行政の各部局との連携や仕組み等が分かりにくいという質問について、福祉部の中にある福祉事務所の業務については、すべて福祉部で包括しています。新庁舎に移りますと、現在分散している包括支援センターを含む高齢介護課は一か所に集約され、ほぼすべての対応が福祉部で可能となります。また、社会福祉協議会は社会福祉法人として、地域の細かい所に目を配ることができ、また、在宅福祉などを担っています。事務所は社の福祉センター内にありますので、今後ともこういった組織との連携を図っていきます。</p> <p>また、ご提案いただいています、介護予防への取組は、元気なうちから取組を始めていかなければならないという認識のもと、引き続き健康課との連絡を含めながら健康相談や指導、併せて、介護予防にも努めたいと思います。</p>
<p>部長</p>	<p>新たな財源の確保の項目で、まずJR社町駅前駐車場の有料化について、24年度につきましては10月1日から有料化しました関係で半年分です。25年度については一年分の予算を見込んでおりますが、金額についてはほぼ同じような割合でいただけるものではないかと思っています。また、いつからこのような財源として取り組んでいるのかというご質問については、23年度に職員の新たな財源プロジェクトチームを立ち上げ、その中の一つとしてJR社町駅の有料化というのがあり、主な理由としてJR社町駅の駐車場は公共施設なので、適正に利用していただく、また、周辺の方々にご迷惑をかけないようにという大きな視点があり、そのために有料化に踏み切ったものです。有料化については24年度、具体的な検討については23年度から進めました。</p>
<p>部長</p>	<p>分庁方式のあり方と庁舎整備の検討については、庁舎の基本計画の策定時には3庁舎の方向性は示しておりません。それ以降に庁舎の中での内部検討、また社庁舎の建物調査を通じまして、その結果を総務文教常任委員会で説明してその結果3庁舎のあり方、方針について発表させていただきました。</p>
<p>部長</p>	<p>兵庫教育大学との連携強化について、兵庫教育大学も地域貢献をする大学として、加東市のみならず北播磨エリアのすべての市町と連携協定を結び、それぞれのまちと特色のある事業を推進いただいております。この中でも加東市のPR不足というものはあると思いますが、他市に劣らず、特に教育分野では市との連携を積極的に取り組んでいただいております、コンソーシアムについても、加東市独自</p>

<p>部 長</p>	<p>の取り組みであると思います。兵庫教育大学が他市に魅力があるとか、加東市に対して協力的でないという感覚は持っていません。</p> <p>先ほど情報の開示請求の件で住民票の交付に関する事で登録者数を、1,200とお答えしましたが、2,100人が登録されていますので訂正させていただきます。</p> <p>ごみの減量化対策についてのご意見ですが、剪定された樹木のバイオマス化についてエコに利用すればどうかということですが、ほんとに大切なことです。</p> <p>今は一般廃棄物として燃えるごみで出してもらっていますが、現在家庭から出るごみの量の少なさは、今年も加東市は県のベスト3に入っていると思っています。うまくいけば1位をキープできるかなと思っています。こういうことは、市民の皆さんの温かいご協力により達成出来ています。これは環境基本計画の中にも謳っています。このようなご提案も計画を見直す中で取り入れていきたいと考えています。</p>
<p>部 長</p>	<p>環境基本計画の策定、推進については、ここの指標は太陽光発電の補助金の数値しかあがっていないということで、確かにそうです。これについては、市民の皆さんにいろいろな活動をしていただいておりますので、もっとあげていってPRしていくべきだと思っていますので考えていきます。</p> <p>ちなみに現在、市役所のCO2の排出量は、19年度対比で24年までに6%の削減を実現しております。24年までで6%削減できたので、さらに25年から29年までの間に12%、その倍をやろうではないかという目標をたてています。</p> <p>ここには出していませんので、こういうこともやっていければと思っています。</p> <p>また、ごみの収集車をハイブリット車に入れ替えるなど、そういう取り組みもやっておりますので、出来ている取組を示していければと考えています。</p> <p>環境基本計画ですが、スパイラルアップということで、PDCAサイクルを回していこうということも記載しています。実際に23年24年から始まり、まだデータ量が少なく、検証ができていなかったのですが、本年度において23年24年についての検証を進めています。計画期間が10年間あり、半分の5年の時点で見直しも行いますので、この検証を踏まえ、ご提案いただいたことや指標についてもあげていき、当然反省もし、良い所はいい評価をしていただく、さらに市民の方のご協力によってレベルアップを図りたいと考えておりますのでご協力よろしくお願いたします。</p>
<p>座 長</p>	<p>行財政改革の推進に関する皆様の質問に対する回答がありましたが、さらに質問等ございましたら簡潔にお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料1、P3の実施項目5の質問ですが、ここで思ったのは個人情報というのは会議の情報公開の中に含まれていると思ったので質問したのですが、この回答は会議とは別のことですか。会議の中で個人情報を公開することはあるのか。</p>
<p>部 長</p>	<p>例えばこの会議でしたら委員という表示になって、個人名は出ないということになっています。</p>

委員	その辺が気になったので質問しました。回答は理解しました。
座長	他にないようでしたら、これに関してはひとまず終わります。 先ほどの進行管理シートに関する質問は様式に記入の上 12 月 20 日までに提出してください。 それでは最後に第 4 回目の日程について事務局よりお願いします。
	<p><b>(3) 次回の市民会議の日程について</b></p> <p>&lt;協議により、次回の市民会議を平成 26 年 2 月 28 日（金）で調整をすることに決定&gt;</p>
座長	<b>4 その他</b> それでは、その他ということで、事務局からございましたらお願いします。
事務局	4 回目の内容については、総合計画の平成 24 年度進行管理及び行財政改革の中間とりまとめとする総括的なお話です。次年度に向けてのお話をさせていただきたいと思います。期間がかなりございます。今回の資料としてお渡ししております進捗状況に関する意見は 12 月 20 日までとさせていただいており、前回のⅠ～Ⅲについては、12 月 13 日締め切りとさせていただいておりました。これの内容につきましては、ご意見等いただきまして、また回答を書面になるかも知れませんがお渡しし、取りまとめ総括的なことに入っていきたいと思います。その時にはそれぞれ委員様に対して、こちらからご意見を求めることがあると思いますがご協力よろしく願いいたします。
座長	これで、本日の協議はすべて終了しました。長時間にわたりいろんなご意見をいただき、ありがとうございました。事務局にマイクをお返しします。
	<b>5 閉 会</b>
事務局	慎重なるご審議を賜りありがとうございました。 閉会にあたりまして、副座長からごあいさつを頂戴いたします。
副座長	皆様本日は、ご出席いただき、誠にありがとうございました。第 3 回の委員会は非常に色々なご意見をいただき、また、各担当にもいろんな意見が反映できるのではないかと思います。きょうは時間超過いたしましたがお苦勞様でした。ありがとうございました。